

夕刊 新報 第九月三日 發行

早春の大館山下

金成 向峯

平野鐵道の線路を越ゆる 句帳を取り出して見たが...

地震 高久 晚霞

○怖ろしきなる震るものかねばたまのこれの世...

呼吸

呼吸 呼吸 呼吸 呼吸...

地 震

○夜を寒み臥やり描えたる大なるの揺れ常なら...

社会の今日

うら〜と天に雲雀は 啼きのばり、雪斑なる...

お蘭陀お蝶

お蝶は此處ぞと突込んで 車一度に退却した。見て...



拙筆微笑 始める頃数世軍 久しぶりの酒が...

お蝶は此處ぞと突込んで 車一度に退却した。見て...

ルセドンランバカ 富豊品作特秀優 店品洋野中

お醤油は... ヤマフル 山崎合名會社

有給社員招聘 経験の有無不問ハズ奮闘ノ士ヲ望ム

生花教授 池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします

安齊外科醫院 花柳科 泌尿科 皮膚科

木村外科醫院 内臓外科 一般 平町六丁目(橋際)

生花教授 家元龍生派池坊 生花、盛花、投入自然

大和田醫院 耳鼻咽喉科 専門 平町南町(電一〇七番)

別府皮膚藥 金三十銭 天下の名湯別府温泉のラヂウム含有の精に各病

淋薬界の最高權威 無効返金(二日間服効なき時は返)

態度の公明を疑ふと 橋本校長排斥の決議

警中卒業生間の空氣悪化

警中三十三回卒業生代表若名は昨日八日某所に會合
橋本文書氏を警中校長として信任せず、速に自決すべし
の決議文を制作し、血判をなして文部省、知事等に送附したが、右は橋本校長
が昨年七月野球會館中の寄附金に起因した風紀問題及昨年一月中の同様事件
に關し當の數教諭を庇護して何等の處置をなさず、却て追厚にして生徒の信
任厚い某々五教員に對し卒業式直後の昨日八日辭職を迫つたので更に激昂し
た爲め今日九日は卒業生代表と學校當局との正面衝突を免れない模様で此間
處する橋本校長の態度は今回の卒業生のみならず一般同窓生の憤激を買ひ空
氣が可なり險惡の様相であると傳へられて居る

校長は否定 代表者十名 會見を求む

代表者十名 會見を求む

此後はどうだか
一今分ではと語る
警中の動搖に關し今日九日午
後橋本校長は語る
十名程の卒業生と會見は
したがいれば在學中御世
話になつたと云ふ御禮を
述べに來たのである、決
議だなんて事は今後とは
うたかた今分の處では見て
も聞いて居らぬ。職員した
の身分上關する問題は芳松
他へ榮轉する人があるの
で之に伴ふ異動が無しと
は云はぬ(午後一時)

最少限度の經費で 應急施設を講ず

四倉小學校の對面の對面
現今の町財政から一部に
反對の氣が漲つて居る旨
報の如く此程開かれた町
は之等の町民で汚職者満
の態であつたが町議連
多數町民の輿論に聽従し
四倉小學校問題解決

三陸に集る同情 義捐金品募集決定

けふ町各團體で協議
示すでは三陸地方被災民
救世軍平小隊から
古着百九十八貫
今日罹災地へ發送

別人員表によると納税人員
合計三萬四千八百七十八
百圓以上は宅地租の湯本
百圓以上は宅地租の湯本
百圓以上は宅地租の湯本
百圓以上は宅地租の湯本
百圓以上は宅地租の湯本
百圓以上は宅地租の湯本

平町税整理 第一軍陸 校念記

平町税整理は今日九日年度
平町税整理は今日九日年度
平町税整理は今日九日年度
平町税整理は今日九日年度
平町税整理は今日九日年度
平町税整理は今日九日年度

木ウ金専門の賊 連行途中逃走したが 自宅で潜伏中再び捕はる

平町鎌田町農家之吉二男
物販高島忠治(三)は長橋
物販高島忠治(三)は長橋
物販高島忠治(三)は長橋
物販高島忠治(三)は長橋
物販高島忠治(三)は長橋
物販高島忠治(三)は長橋

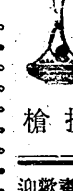
藝妓の賣上げ高 郡下で五萬本減

額かるる遊興税軽減運動
郡下に割り當てられた遊興
の負擔は縣稅出張所の四十
奔走により過激減額九萬八
決したが該問題に就き試み
に昨年中の玉代賣上げを見

町村 大 小 三、四五 三、五七 三、五七 三、五七 三、五七 三、五七 三、五七 三、五七 三、五七 三、五七 三、五七 三、五七

植田消防協賛 第八回生の巻 赤井嶽男記

無いが誠に痛惜哀悼の情に
禁ざる事である。
前回は當時の寄附生を中
心として朗かな声で健闘す
の學生氣質を紹介して以て
の學生の爲に一筆を博して
た、本日は記述の明瞭を
の宜しきに對する意味に
於て先づ此回卒業生中
幽の數人に就て語らう。



投槍 迎撃書投

紙を比較的マシメに綴刊し
島田(文藝新聞)と云ふ如
ルが地方的に指導的役割を
し得るものと信じ、且又將
來の發展を待望するもので
あるが、大衆的抗争性の餘
りにも多分に介在して居る
が、老練的ではあるけれど
も、老練的ではあるけれど
も、老練的ではあるけれど
も、老練的ではあるけれど
も、老練的ではあるけれど
も、老練的ではあるけれど

第一校遠足

平町小學校では十一日午
頃卒業生が自宅で取押へ
行の途中新川町内道路で
矢面に見えなつたが再び
宅二階に潜伏中を発見捕
した、同人は昨年十一月
植小路武藏鐵工場車道山
吉方に奉公中飽金六圓を

空腹、酒の利き目 行倒れ、間違はる迄

昨日午後二時頃、長橋
町内雪解け道路に倒れ、
町内雪解け道路に倒れ、
町内雪解け道路に倒れ、
町内雪解け道路に倒れ、
町内雪解け道路に倒れ、
町内雪解け道路に倒れ、

十五から盗み出 前後數十回の犯行

高坂の手長小僧檢察
内村村高坂山田辰蔵(二)
名は三年前から同村早川
國奥方面外軒から前後十
前後数十回の犯行をして
平三郎氏は二百圓を、何
原義雄氏は二百圓を、何
日本赤十字社福島支部
業費に寄附したるが、何
業費に寄附したるが、何
業費に寄附したるが、何
業費に寄附したるが、何
業費に寄附したるが、何

長塚村疑獄公判 來廿九日と決定

長塚村疑獄公判は二十九
日開廷するが、長塚村疑
獄公判は二十九日開廷す
るが、長塚村疑獄公判は
二十九日開廷するが、長
塚村疑獄公判は二十九日
開廷するが、長塚村疑獄
公判は二十九日開廷する
が、長塚村疑獄公判は
二十九日開廷するが、長
塚村疑獄公判は二十九日
開廷するが、長塚村疑獄
公判は二十九日開廷する

轉んで骨折の重傷

遭難漁夫の妻同情さる
四倉町新漁夫紋波一し
湯から歸宅の途中町内
道で誤つて倒れ、右足を
骨折し、今更紗合格した

重鑑八雲から

御紙の御盡力に依り小野
大尉の武功郷人の胸裡に
刻まれたるは御本人の御
欣びは申す迄もなく警中
卒業生郷人の誇とする處
に御座候、愈々明日十一
時に出席候、珍しき
事共多きこと想像致し
居り候間御参考迄に御報
せす。三月五日
練習艦隊軍艦八雲にて。
主計少尉候補生渡邊力男
會の下に十四日第二回公判
を開廷する

産婆看護婦 平南町 平南町看護婦學校 校長 野村キヨ

渡部外科 渡部義夫 小児科 女 醫學博士 渡部義夫 平町町大通り (電話二七七) (入院應需)

集募徒生 平南町 新學期は四月八日より 御希望の方は至急御申込みを

耐久力優二二十年以上 余織田材木商店 日本建築工業株式會社 日本建設工業株式會社

父美三様昨七日午後六時四十分 然願血の爲死去仕り候に付此段 生前學知諸君に謹告仕候 追々葬送儀三月十日午後二時赤井村 大字龍田(小川郷下)自宅にて佛式 相替申候 昭和八年三月八日

代總友 親戚
萩草比菅 鈴 若
原野佐村 木 松
義清三昌太 德 公
雄昇郎平 平 平

救世軍平小隊から 古着百九十八貫 今日罹災地へ發送